

日本国特許庁

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
at this Office.

願年 月 日  
Date of Application:

2000年 1月 5日

願 番 号  
Application Number:

特願2000-005298

願 人  
Applicant(s):

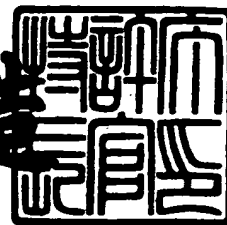
株式会社セガ・エンタープライゼス

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2000年11月17日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3095331

【書類名】 特許願

【整理番号】 S00703P095

【あて先】 特許庁長官殿

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都大田区羽田 1 丁目 2 番 1 2 号 株式会社セガ・エ  
                        ンタープライゼス内

    【氏名】 波田 尚之

【特許出願人】

    【識別番号】 000132471

    【氏名又は名称】 株式会社セガ・エンタープライゼス

【代理人】

    【識別番号】 100079108

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 稲葉 良幸

【選任した代理人】

    【識別番号】 100080953

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 田中 克郎

【選任した代理人】

    【識別番号】 100093861

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 大賀 眞司

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 011903

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9706518

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンテンツの課金方法及び課金装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サーバから通信網を介して端末装置にストリーミングビデオ又はストリーミングオーディオの番組データを配信する際のコンテンツの課金方法であって、

予め前記番組データを多数のブロックに分割して保持する過程と、

前記分割されたブロックデータの 1 又は複数を順次に前記端末装置に配信する過程と、

前記配信の受信の度に前記端末装置から前記サーバに受信を通知する過程と、

前記受信の通知に基づいて課金を行う過程と、

を含む、コンテンツの課金方法。

【請求項 2】

通信網を介して番組データを端末装置に配信するコンテンツサーバであって、前記番組データを記憶する記憶手段と、

前記端末装置からの要求に応じて前記番組データを配信する配信手段と、

前記端末装置から前記番組データの所定データ量の受信毎に送信される受信通知信号の受信を判別する判別手段と、

前記受信通知信号に基づいて前記端末装置に対する課金処理を行う課金手段と

を備えるコンテンツサーバ。

【請求項 3】

前記番組データは予め複数のブロックデータにブロック化されており、

前記配信手段は、前記番組データを 1 つ又は複数のブロックデータを送信単位として配信し、

前記端末装置は、1 又は複数のブロックデータの受信毎に受信通知信号をコンテンツサーバに送信する、請求項 2 記載のコンテンツサーバ。

【請求項 4】

前記番組データは、ストリーミングビデオ又はストリーミングオーディオを含

む、請求項 2 又は 3 記載のコンテンツサーバ。

【請求項 5】

前記端末装置は、受信した前記番組データをストリーミング再生する、請求項 2 乃至 3 のいずれかに記載のコンテンツサーバ。

【請求項 6】

前記端末装置はゲーム装置である、請求項 2 乃至 5 のいずれかに記載のコンテンツサーバ。

【請求項 7】

前記番組データは、連続に再生されるべきデータである、請求項 2 乃至 5 のいずれかに記載のコンテンツサーバ。

【請求項 8】

サーバから通信網を介して端末装置に番組データを配信するネットワークシステムの端末装置であって、

前記サーバに前記番組データの配信を要求する配信要求手段と、

前記サーバからの前記番組データを受信する受信手段と、

前記サーバからの前記番組データの所定データ量毎に前記サーバに対して受信通知信号を送信する通知手段と、

を備える端末装置。

【請求項 9】

前記番組データは、予め複数のブロックデータに分割されており、

前記受信手段は、前記番組データを 1 つ又は複数のブロックデータを単位として受信し、

前記通知手段は、1 つ又は複数のブロックデータの受信毎に受信通知信号を前記サーバに送信する、請求項 8 記載の端末装置。

【請求項 10】

前記番組データは、連続に再生されるべきデータである、請求項 8 乃至 9 のいずれかに記載の端末装置。

【請求項 11】

前記番組データは、ストリーミングビデオ又はストリーミングオーディオを含

む、請求項 8 乃至 1 0 のいずれかに記載の端末装置。

【請求項 1 2】

受信した前記番組データをストリーミング再生する再生手段を更に備える、請求項 8 乃至 1 0 のいずれかに記載の端末装置。

【請求項 1 3】

前記端末装置はゲーム装置である、請求項 8 乃至 1 2 のいずれかに記載の端末装置。

【請求項 1 4】

サーバから通信網を介して端末装置に番組データを配信するネットワークコンテンツ配信システムであって、

前記サーバは、

前記番組データを記憶する記憶手段と、

前記端末装置からの要求に応じて前記番組データを配信する配信手段と、

前記端末装置から前記番組データの所定データ量の受信毎に送信される受信通知信号を受信する受信手段と、

前記受信通知信号を判別する判別手段と、

前記受信通知信号に基づいて前記端末装置に対する課金処理を行う課金手段と

を備え、

前記端末装置は、

前記サーバに前記番組データの配信を要求する配信要求手段と、

前記サーバからの前記番組データを受信する受信手段と、

前記サーバからの前記番組データの所定データ量の受信毎に前記サーバに対して受信通知信号を送信する通知手段と、

を備える、ネットワークコンテンツ配信システム。

【請求項 1 5】

前記番組データは、予め複数のブロックデータに分割されており、

前記配信手段は、前記番組データを 1 つ又は複数のブロックデータを送信単位として配信し、

前記端末装置は、1つ又は複数のブロックデータの受信毎に前記受信通知信号を前記サーバに送信する、請求項14記載のネットワークコンテンツ配信システム。

【請求項16】

前記番組データは、連続に再生されるべきデータである、請求項13乃至15のいずれかに記載のネットワークコンテンツ配信システム。

【請求項17】

前記番組データは、ストリーミングビデオ又はストリーミングオーディオを含む、請求項13乃至15のいずれかに記載のネットワークコンテンツ配信システム。

【請求項18】

前記端末装置は、受信した前記番組データをストリーミング再生する、請求項13乃至15のいずれかに記載のネットワークコンテンツ配信システム。

【請求項19】

前記端末装置は、ゲーム機である、請求項13乃至18のいずれかに記載のネットワークコンテンツ配信システム。

【請求項20】

前記番組データは、各ブロック毎に料金が定められている、請求項1に記載のコンテンツの課金方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークを介して提供される動画、音声等の連続に再生されるべきストリーミングデータに関する課金方法及びこれを用いた課金装置に関する。

【0002】

【従来技術】

インターネットを利用したサービスの1つとして、コンテンツの配信、例えば、インターネット放送（テレビ、ラジオ）が注目されている。コンテンツは、コ

ンピューター・デジタル技術を使ったさまざまな媒体で流通する映像、画像、音声、文字、数値などのデジタル化された情報である。このうち、映像、音声等は、時系列的なデータであり、ホームページから番組プログラム等としても提供されるが、データ量が膨大である。このため、コンテンツサーバ（例えば、ビデオ・オーディオのサーバ）から自己のパーソナルコンピュータに映像番組をダウンロードし、全て記憶してから再生するのでは、再生開始までに長時間を要する。また、大容量のハードディスク等のコンテンツ記憶手段を必要とする。そこで、映像や音声番組のコンテンツのような場合には、インターネットや通信（あるいは放送）衛星を伝送媒体とするストリーミング配信が行われる。受信側では、ストリーミング再生プログラムによって、送信されてくるコンテンツデータを逐次再生（ストリーミング再生）し、テレビ放送や音楽放送（ラジオ）のように楽しむことが出来る。

## 【 0 0 0 3 】

## 【発明が解決しようとする課題】

コンテンツ提供者は、各映像番組等の提供に対してオンデマンドで課金し、ウェブページの運用収益を得ることができる。

## 【 0 0 0 4 】

しかしながら、番組の送出中に通信エラー、メンテナンス等による回線切断が生じた場合、番組の提供が終っていないので課金を行えない。また、視聴者が番組の受信を途中で止めた場合にも、課金を行えない。課金を月間・年間契約等の長期契約とした場合には、好みの番組だけの視聴を望む者には、相対的に割高の課金となる。

## 【 0 0 0 5 】

よって、本発明は、コンテンツ提供サービスの利用者が、利用した分だけ課金されるような課金方法を提供することを目的とする。

## 【 0 0 0 6 】

また、本発明は、デジタルビデオ映像等をリアルタイムに配信するコンテンツ提供サービスを利用者に、利用した分だけ課金を行う課金装置を提供することを目的とする。



## 【 0 0 0 7 】

## 【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため本発明のコンテンツの課金方法は、サーバから通信網を介して端末装置にストリーミングビデオ又はストリーミングオーディオ等の連続的に再生されるべき番組データを配信する際のコンテンツの課金方法において、予め上記番組データを多数のブロックに分割して保持する過程と、上記分割されたブロックデータの1又は複数を順次に上記端末装置に配信する過程と、上記配信の受信の度に上記端末装置から上記サーバに受信を通知する過程と、上記受信の通知に基づいて課金を行う過程と、を含む。

## 【 0 0 0 8 】

かかる構成とすることによって、ストリームデータの提供に対して従量制による課金を行うことが可能となる。

## 【 0 0 0 9 】

また、本発明のコンテンツサーバは、通信網を介して番組データを端末装置に配信するコンテンツサーバにおいて、上記番組データを記憶する記憶手段と、上記端末装置からの要求に応じて上記番組データを配信する配信手段と、上記端末装置から上記番組データの所定データ量の受信毎に送信される受信通知信号の受信を判別する判別手段と、上記受信通知信号に基づいて上記端末装置に対する課金処理を行う課金手段と、を備える。

## 【 0 0 1 0 】

かかる構成とすることによって、ストリームデータの提供に対してコンテンツサーバは従量制による課金を行うことが可能となる。

## 【 0 0 1 1 】

好ましくは、上記番組データは予め複数のブロックデータにブロック化されており、上記配信手段は、上記番組データを1つ又は複数のブロックデータを送信単位として配信し、上記端末装置は、1又は複数のブロックデータの受信毎に受信通知信号をコンテンツサーバに送信する。

## 【 0 0 1 2 】

好ましくは、上記番組データは、ストリーミングビデオ又はストリーミングオ

ーディオを含む。

【 0 0 1 3 】

好ましくは、上記端末装置は、受信した上記番組データをストリーミング再生する。

【 0 0 1 4 】

上記端末装置を通信機能を備えるゲーム装置で構成することが出来る。

【 0 0 1 5 】

好ましくは、前記番組データは、連続に再生されるべきデータである。

【 0 0 1 6 】

本発明の端末装置は、サーバから通信網を介して端末装置に番組データを配信するネットワークシステムの端末装置であって、上記サーバに上記番組データの配信を要求する配信要求手段と、上記サーバからの上記番組データを受信する受信手段と、上記サーバからの上記番組データの所定データ量毎に上記サーバに対して受信通知信号を送信する通知手段と、を備える。

【 0 0 1 7 】

かかる構成により、サーバはデータの受信を了知し、端末装置が受信したデータ量に応じた課金を行うことが可能となる。

【 0 0 1 8 】

好ましくは、上記端末装置において、上記番組データは、予め複数のブロックデータに分割されており、上記受信手段は、上記番組データを1つ又は複数のブロックデータを単位として受信し、上記通知手段は、1つ又は複数のブロックデータの受信毎に受信通知信号を上記サーバに送信する。

【 0 0 1 9 】

好ましくは、上記端末装置において、上記番組データは連続に再生されるべきデータである。

【 0 0 2 0 】

好ましくは、上記端末装置において、上記番組データはストリーミングビデオ又はストリーミングオーディオを含む。

【 0 0 2 1 】

好ましくは、上記端末装置は受信した上記番組データをストリーミング再生する再生手段を更に備える。

## 【 0 0 2 2 】

好ましくは、上記端末装置はゲーム装置である。

## 【 0 0 2 3 】

本発明のネットワークコンテンツ配信システムは、サーバから通信網を介して端末装置に番組データを配信するネットワークコンテンツ配信システムにおいて、上記サーバは、上記番組データを記憶する記憶手段と、上記端末装置からの要求に応じて上記番組データを配信する配信手段と、上記端末装置から上記番組データの所定データ量の受信毎に送信される受信通知信号を受信する受信手段と

、  
上記受信通知信号を判別する判別手段と、上記受信通知信号に基づいて上記端末装置に対する課金処理を行う課金手段と、を備え、

上記端末装置は、上記サーバに上記番組データの配信を要求する配信要求手段と、上記サーバからの上記番組データを受信する受信手段と、上記サーバからの上記番組データの所定データ量の受信毎に上記サーバに対して受信通知信号を送信する通知手段と、を備える。

## 【 0 0 2 4 】

かかる構成によって、サーバは、月毎・年毎（時間）契約、1コンテンツ毎あるいは番組プログラム単位ではない、実際のデータ受領量に応じた課金でコンテンツをネットワークを介して端末装置に配信することが可能となる。

## 【 0 0 2 5 】

好ましくは、ネットワークコンテンツ配信システムにおいて、上記番組データは、予め複数のブロックデータに分割されており、上記配信手段は、上記番組データを1つ又は複数のブロックデータを送信単位として配信し、上記端末装置は、1つ又は複数のブロックデータの受信毎に上記受信通知信号を上記サーバに送信する。

## 【 0 0 2 6 】

好ましくは、上記ネットワークコンテンツ配信システムにおいて、上記番組デ

ータは、連続に再生されるべきデータである。

【 0 0 2 7 】

好ましくは、ネットワークコンテンツ配信システムにおいて、上記番組データは、ストリーミングビデオ又はストリーミングオーディオを含む。

【 0 0 2 8 】

好ましくは、ネットワークコンテンツ配信システムにおいて、上記端末装置は、受信した上記番組データをストリーミング再生する。

【 0 0 2 9 】

好ましくは、ネットワークコンテンツ配信システムにおいて、上記端末装置は、ゲーム機である。

【 0 0 3 0 】

好ましくは、上記コンテンツの課金方法において、上記番組データは、各ブロック毎に料金が定められている。

【 0 0 3 1 】

#### 【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。図 1 は、本発明が適用されるシステム構成の例を概略的に説明する図であり、インターネット（通信網）1 に多数の端末装置 2 2 や各種サーバが接続されている。端末装置 2 2 は、直接インターネットに接続されるものの他、接続サービス提供者（I S P）2 1 を経由してインターネットに接続されるものがある。端末装置 2 2 は、通信機能を備えたコンピュータシステムであるが、通信機能を備えたゲーム装置も端末装置 2 2 に含まれる。端末装置 2 2 は、図示しない、データや指令を入力するキーボード、データ処理を行う C P U、インターネット、公衆通信回線あるいは衛星放送・衛星通信等を行う通信インタフェース装置、画像データの処理を行う画像処理装置、モニタの表示制御を行う表示制御装置、M P E G データを復調する M P E G 再生装置、画像を表示し、音声をステレオ再生するテレビモニタ、ゲーム操作を行うゲームコントローラ、データを記憶するメモリカード、ハードディスクなどの記憶装置、C D - R O M ドライブなどを備えている。ゲーム装置は、ハードディスク等の大容量記憶装置を備えない場合が多いが、M P E G 再生等

の高性能の画像処理装置を備えているので、映像番組などのストリーミングデータの再生には、好適である。

#### 【 0 0 3 2 】

インターネット 1 には、コンテンツサーバ 3 1 が接続される。コンテンツサーバ 3 1 は、大記憶容量のデータベース装置 3 2 に、デジタル化された多数の、映像、画像、音声、文字、数値などの番組情報を保持している。後述するように、利用者からのインターネットを介したアクセスに対応して、該当する番組をデータベース装置 3 2 から読出して、インターネットを介して当該利用者に宛てて送出する。送出データは、例えば、いわゆる M P E G 2, M P 3 (MPEG1 Audio Layer3)、W A V E、等の形式のストリーミングデータである。

#### 【 0 0 3 3 】

このストリーミングデータは、図 2 に示すように、予め課金単位でブロック化されている。各ブロックは、更に一連のパケット P 群によって形成される。課金は、番組毎に異なる料金であっても良く、また、各ブロックによって異なる料金に定めても良い。例えば、番組の内の面白い部分と、そうでない部分とで 1 ブロック分の料金を変えることができる。これ等は、番組の価格リストとして課金サーバ 3 3 が保持している。

#### 【 0 0 3 4 】

コンテンツサーバ 3 1 は、利用者へ送信したブロックの受領を確認した度に、課金サーバ 3 3 に課金を指令する。課金サーバ 3 3 は、コンテンツサーバ 3 1 からの課金指令を逐次処理し、予め備えられた課金台帳に各利用者への課金を記録する。

#### 【 0 0 3 5 】

次に、図 3 乃至図 5 を参照して端末装置とコンテンツサーバ間のストリーミングデータの送受について説明する。

#### 【 0 0 3 6 】

図 3 は、端末装置 2 2、コンテンツサーバ 3 1、課金サーバ 3 3 の交信状態を時系列的に説明する交信図である。図 4 は、端末装置の動作を説明するフローチャートである。図 5 は、コンテンツサーバ 3 1 の動作を説明するフローチャート

である。

【 0 0 3 7 】

まず、利用者は、端末装置 2 2 をインターネット 1 に接続し、コンテンツサーバ 3 1 のホームページにアクセスする。利用者が、ホームページから利用開始を要求すると、コンテンツサーバ 3 1 は、識別番号 ( I D ) 、パスワード ( P W ) の入力を要求する。利用者が予め割当てられた識別番号、パスワードを入力すると、コンテンツサーバ 3 1 は、課金サーバ 3 3 の課金台帳に記載された利用者の識別番号、パスワードと照合する。識別番号、パスワードが一致すると、アクセス許可となる。コンテンツサーバ 3 1 が、番組や利用料金の案内を端末装置 2 2 に送出すると、これが端末装置 2 2 の図示しない画面に表示される ( R 2 2 ) 。利用者は、端末装置 2 2 の画面に表示された番組、利用料金等の案内から所望の番組 ( コンテンツ ) を選択する ( R 2 4 ) 。選択した番組は、当該番組のダウンロード要求としてコンテンツサーバ 3 1 に送出される ( R 2 6 ) 。コンテンツサーバ 3 1 は、ダウンロード要求を受信すると、データベースから該当番組のファイルサイズを読み出し、端末装置 2 2 に送出する ( T 2 8 ) 。このファイルサイズは、端末装置 2 2 の画面に表示され、放映時間の計算、表示、後の最終データブロック受信の照合などに使用される。

【 0 0 3 8 】

利用者がキーボード操作やアイコンの選択などによって番組の提供を要求すると、端末装置 2 2 からデータ送信要求がコンテンツサーバ 3 1 に送出される ( R 3 0 ) 。コンテンツサーバ 3 1 は、送信要求を受信すると ( T 3 0 ) 、データベースから該当番組をバッファメモリに読み出し、第 1 のブロックを端末装置 2 2 に宛てて送出する ( T 3 2 ) 。端末装置 2 2 は、番組データの第 1 のブロックを図示しない送受信部において受信すると ( R 3 2 ; Y E S ) 、このデータを内蔵の M P E G デコーダ等にとって番組のストリーミング再生を開始する ( R 3 4 ) 。デコーダによって再生されたビデオ・オーディオ信号は、図示しないテレビモニタなどに送られ、映像・音声によって番組プログラムが再生される。全データ ( 全ブロック ) の受信を終了したかどうかを判別する ( R 3 6 ) 。前述したように、ファイルサイズ ( あるいはブロック総数 ) と現在まで受信したデータ量 ( ある

いはブロック数)とを比較することにより、再生終了を検出可能である。また、MPEG形式のデータの場合には、最終データを示すコードの有無を判別することによっても検出可能である。まだ、最終のブロックではないので(R 3 6 ; N O)、1ブロックを受信したことをコンテンツサーバ31に送信する(R 3 8)。

#### 【 0 0 3 9 】

コンテンツサーバ31は、端末装置22から第1のブロックの受信通知を受領しないと(T 3 4 ; N O)、ブロックを再送する(T 3 2)。第1のブロックの受信通知を受領すると(T 3 4 ; Y E S)、課金サーバ33に第1のブロック送信の受領を知らせ、このブロック分の課金を指令する。課金サーバ33は、課金台帳に当該ブロック分の課金を記録する(T 3 6)。次に、全データの受信通知を受けたかどうかを判別する(T 3 8)。この段階では、まだ、全データの受信通知は行われないので(T 3 8 ; N O)、次のブロックの送信を準備する(T 4 0)。

#### 【 0 0 4 0 】

端末装置22は、同様にして、データ受信(R 3 2)、データ再生(R 3 4)、第2のブロック受信通知(R 3 8)、データの送信要求(R 3 0)を繰返す。一方、コンテンツサーバ31も、同様に、データ送信要求の受信(T 3 0)、次ブロックのデータ送信(T 3 2)、受信通知受領(T 3 4)、課金処理(T 3 6)、次データブロック送出準備(4 0)、を繰返す。

#### 【 0 0 4 1 】

このように、ブロックデータの送信と受信とを繰返して、サーバ31から端末装置22にブロックの連続的な送出が行われる。

#### 【 0 0 4 2 】

端末装置22が最後のブロックを受信すると(R 3 6 ; Y e s)、全データの受信完了をコンテンツサーバ31に通知する受信完了通知を出力し(R 4 0)、端末装置22の画面に料金を表示して(R 4 2)、コンテンツの再生を終了する。受信完了通知は受信通知をも兼ねる。一方、コンテンツサーバ31は、受信完了通知を受信すると(T 3 4 ; Y E S)、課金を行い(T 3 6)、受信完了に対

応して (T 3 8 ; Y E S)、コンテンツの送出を終了する。

【 0 0 4 3 】

図 5 は、ブロックデータの送信が途中で終了する場合を説明する発信図である。端末装置 2 2 において、番組の再生途中で利用者がキーボードや画面上のアイコン操作によって再生終了（受信終了）を指定すると、受信終了通知がコンテンツサーバ 3 1 に送信される。それにより、受信完了の場合と同様に、課金を行い (T 3 6)、受信完了に対応して (T 3 8 ; Y E S)、コンテンツの送出を終了する。

【 0 0 4 4 】

エラー処理について説明する。端末装置 2 2 は、データ送信要求後 (R 3 0)、所定時間を経過してもブロックデータを受信しない場合には、タイムアウトとなり (R 5 2)、エラー処理を行う。エラー処理では、ブロックデータの再生を中断する (R 5 4)。表示器の画面にエラーが生じたことを表示し (R 5 8)、待機状態に戻る。

【 0 0 4 5 】

また、コンテンツサーバ 3 1 は、回線の遮断等によってデータ送信後 (T 3 2)、端末装置 2 2 から受信通知を受信することなく (T 3 4 ; N O)、所定時間を経過すると (T 5 0 ; Y E S)、あるいは所定回数、ブロックを再送信しても受信通知を受信しない場合、エラーと判断してタイムアウト処理を行い、該当端末装置 2 2 へのコンテンツ送信を終了する (T 5 2)。その後、待機状態に戻る。

【 0 0 4 6 】

このようにして、本発明の実施例によれば、コンテンツサーバから端末装置に送信されるストリーミングデータのデータ量に応じた課金がなされる。また、一番組の途中で視聴が中止されたり、回線が開放された等の場合にも、配信済あるいは受領済のブロックデータ分について送信データ量に応じて課金がなされる。

【 0 0 4 7 】

なお、上述した実施例では、課金処理を各ブロックデータの配信確認毎に行っているが、配信されたブロック数、あるいは配信済各ブロックの番号をコンテン



ツサーバに逐次記憶し、番組配信の終了後に課金サーバにこれ等のデータを課金情報として課金サーバに転送することとしても良い。

## 【 0 0 4 8 】

また、実施例では、1ブロック毎、端末装置に配信しているが、端末装置のメモリ容量が許容すれば、同時に複数ブロックを端末装置に配信することとしても良い。

## 【 0 0 4 9 】

また、番組毎に課金単位を別々に設定可能であるほか、一番組内の各ブロック毎に異なる課金を設定することが出来る。この場合には、例えば、ビデオ映像の面白い部分とそれほどでもない部分との価値に対応した価格付が可能となる。ビデオ映像と共にゲームデータを送信する場合に、ゲームデータを含むブロック部分をより高い価格設定とすることも可能である。ビデオ映像（映像＋4チャンネル音声）とビデオ映像（映像＋モノラル音声）とで価格設定を変えることも可能である。

## 【 0 0 5 0 】

また、上記実施例では、課金管理を行う課金サーバを別途用意しているが、コンテンツサーバのデータ処理能力が十分に高ければ、課金サーバを省略し、コンテンツサーバで課金管理も行うこととしても良い。

## 【 0 0 5 1 】

また、上記実施例では、ストリーミングデータの提供を、インターネットを介して行っているが、これに限定されるものではない。例えば、専用回線、公衆通信回線、ローカルエリアネットワーク、無線LAN等の通信網であっても良い。また、番組送信の要求を電話回線でコンテンツサーバに行い、ストリーミングデータの配信を通信衛星や放送衛星を介して行う場合のよう、アップリンクとダウンリンクの媒体が物理的に異なる場合にも適用可能である。前述したように、ストリーミングデータは、MPEG2、MP3、WAVEなど種々のものが使用可能である。

## 【 0 0 5 2 】

## 【発明の効果】

以上説明したように、本発明の課金方法及び装置によれば、端末装置がコンテンツデータの一定量を受信する度に、これをサーバ側に通知するので、実際に送信されたデータ量に対して課金を行うことが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

図 1 は、本発明が適用されるシステム構成の一例を示すブロック図である。

【図 2】

図 2 は、ブロック化されたストリーミングデータを説明する説明図である。

【図 3】

図 3 は、端末装置とコンテンツサーバとの交信を説明する交信図である。

【図 4】

図 4 は、端末装置の概略動作を説明するフローチャートである。

【図 5】

図 5 は、コンテンツサーバの概略動作を説明するフローチャートである。

【図 6】

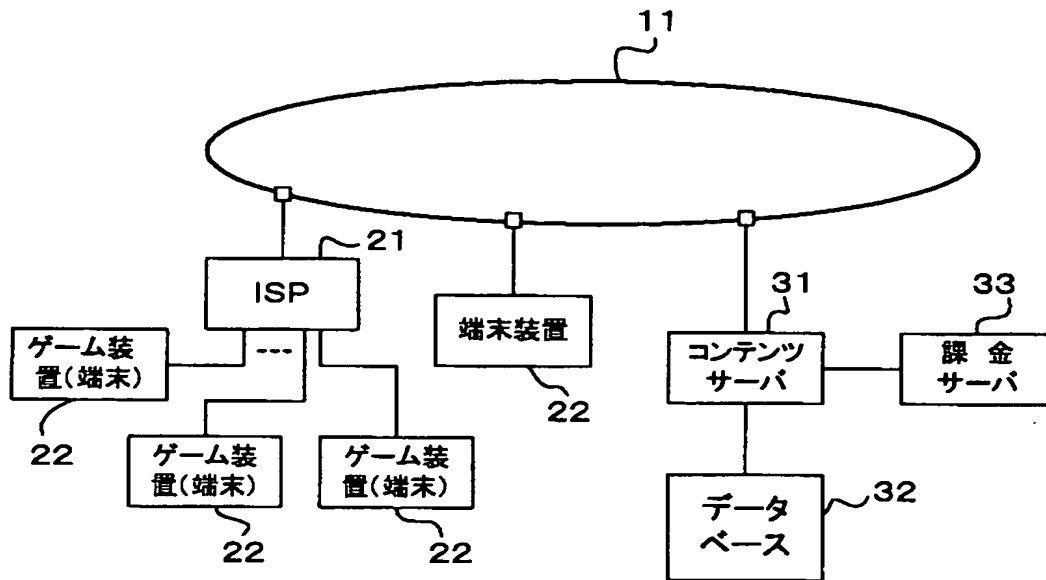
図 6 は、受信の途中終了の例を説明する交信図である。

【符号の説明】

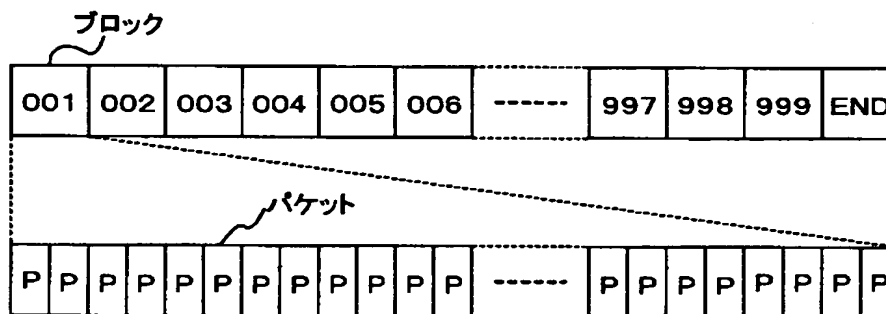
- 1 1 ネットワーク（インターネット）
- 2 1 インターネット接続サービス
- 2 2 端末装置
- 3 1 コンテンツサーバ
- 3 2 コンテンツデータベース
- 3 3 課金サーバ

【書類名】 図面

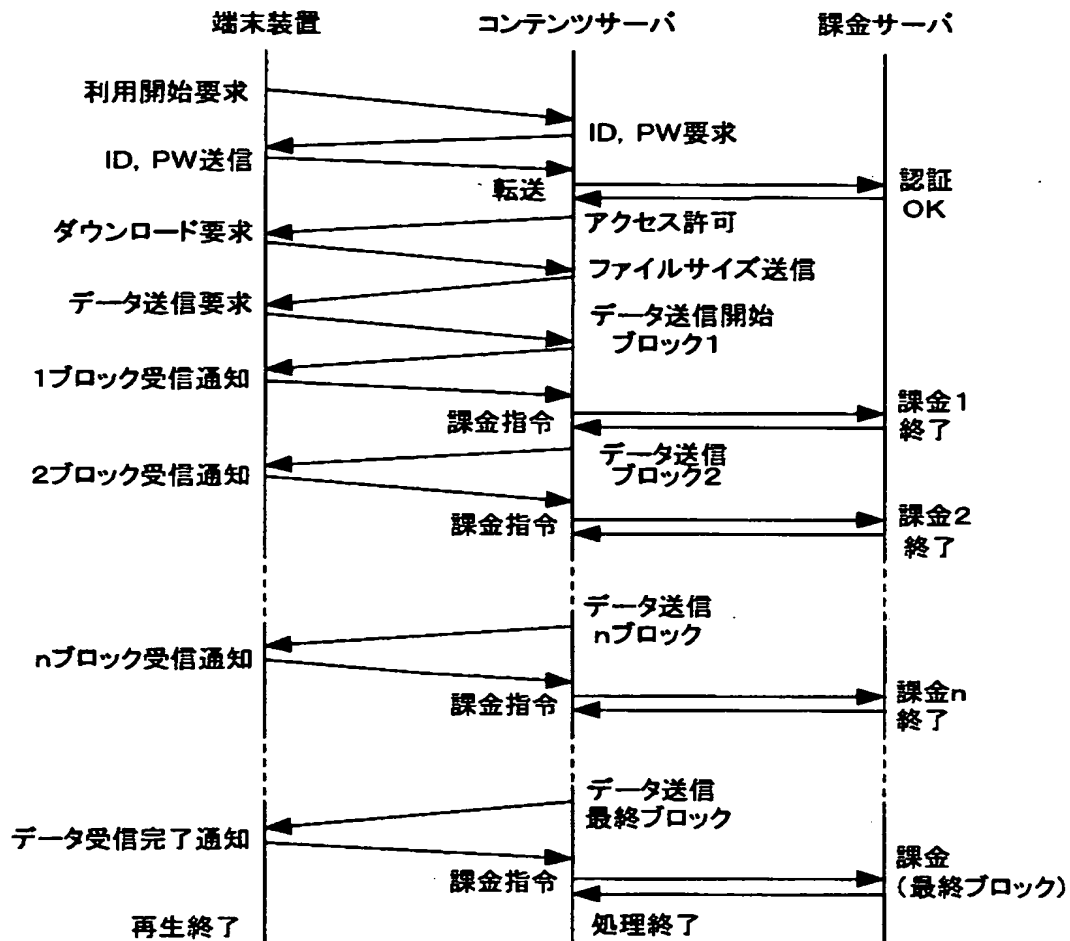
【図 1】



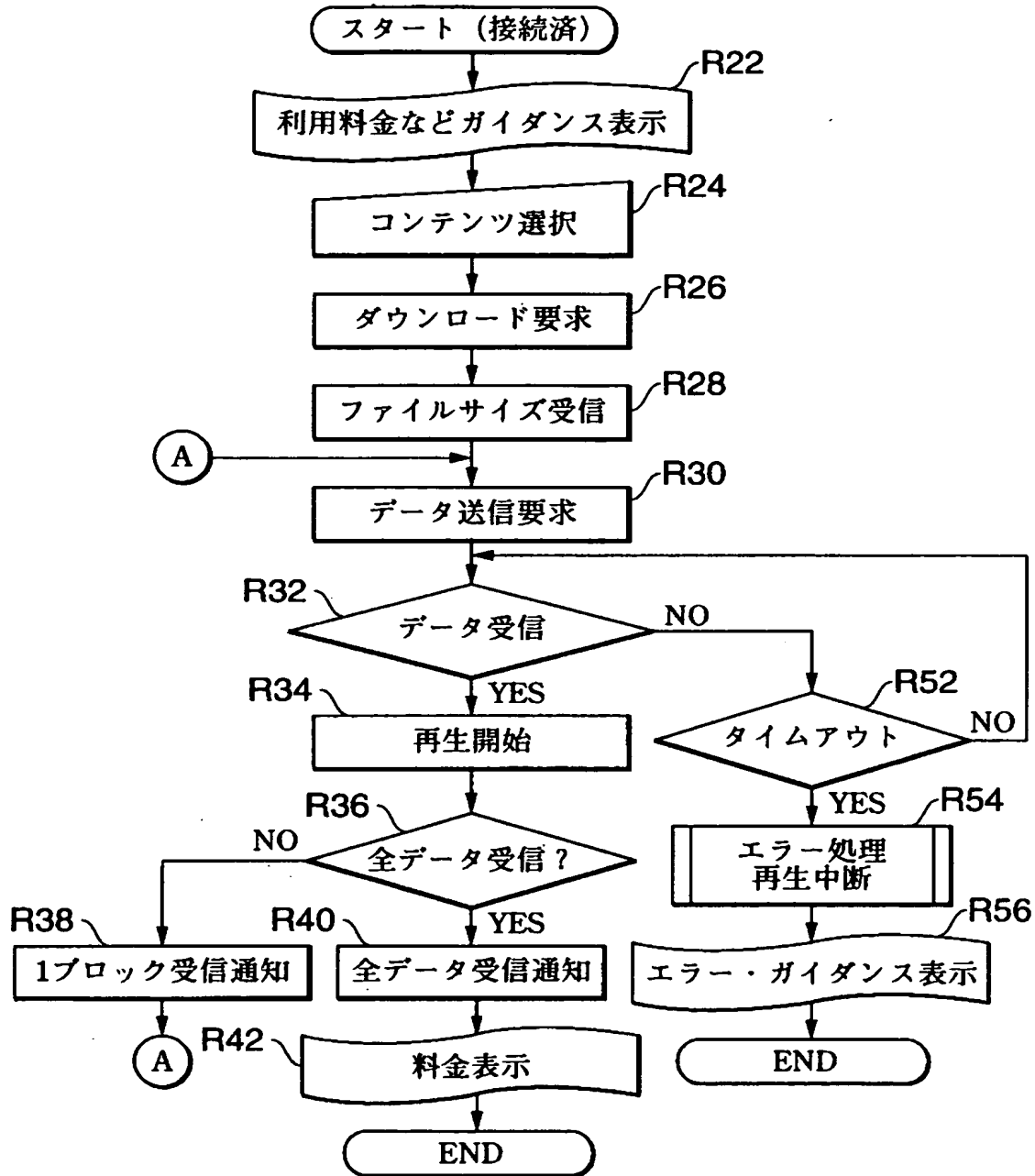
【図 2】



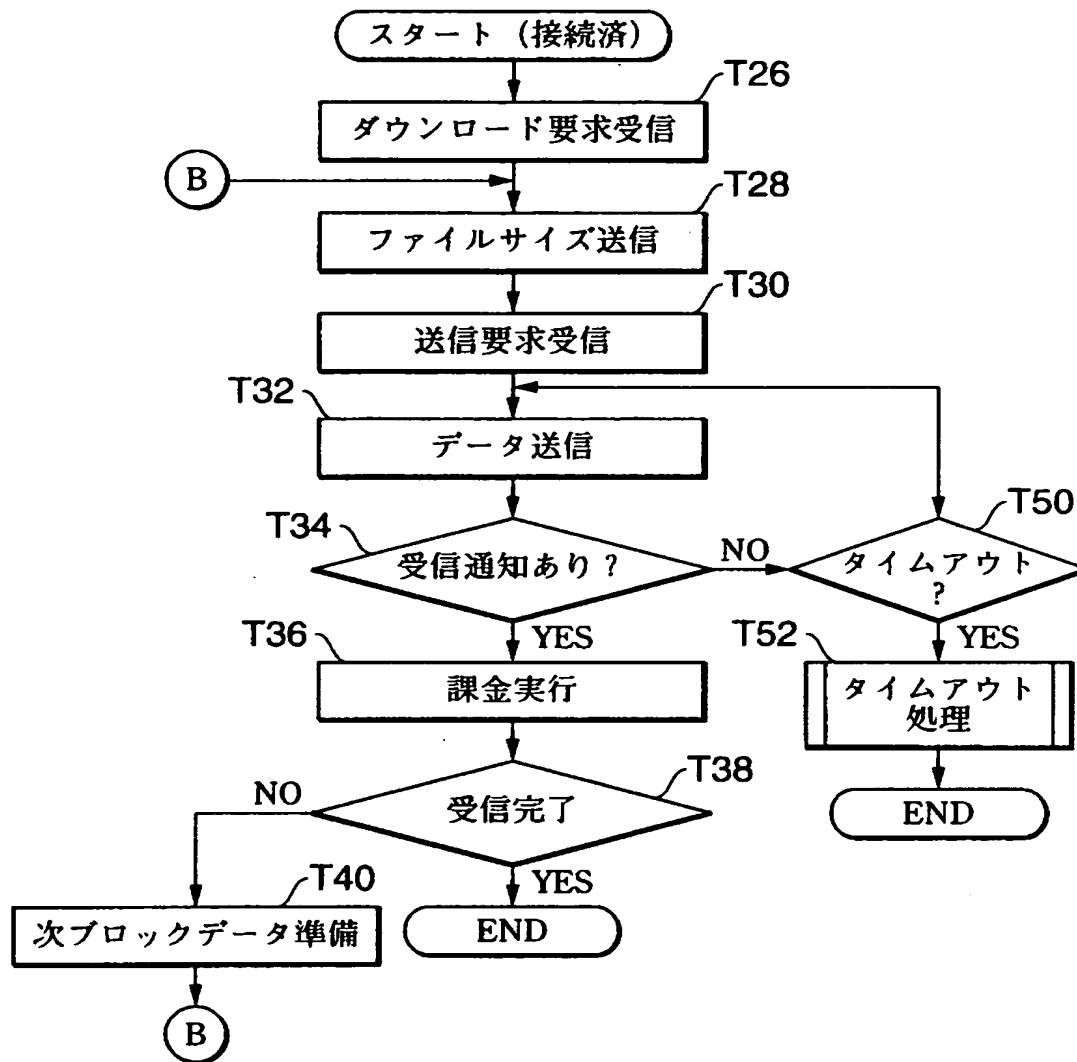
【図 3】



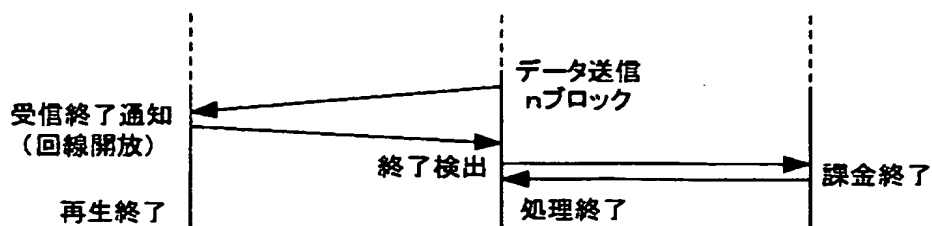
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ストリーミングビデオやストリーミングオーディオ等の有料コンテンツの利用者が、利用した分だけ課金されるような課金方法を提供する。

【解決手段】 コンテンツサーバ(31)は、端末装置(22)からの要求に応じてコンテンツデータを配信する。端末装置(22)から一定量のデータ受信に対応して送られるデータ受信通知を受けて、逐次課金を行う。これにより、コンテンツの再生時間（ダウンロードデータ量）に応じた課金が可能となる。

【選択図】 図 3

認定・付加情報

|         |                |
|---------|----------------|
| 特許出願の番号 | 特願 2000-005298 |
| 受付番号    | 50005000611    |
| 書類名     | 特許願            |
| 担当官     | 第七担当上席 0096    |
| 作成日     | 平成12年 1月 6日    |

<認定情報・付加情報>

|       |             |
|-------|-------------|
| 【提出日】 | 平成12年 1月 5日 |
|-------|-------------|



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000132471]

1. 変更年月日 1990年 8月 9日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都大田区羽田1丁目2番12号

氏 名 株式会社セガ・エンタープライゼス